第23代 第8高射特科群長 兼 青野原駐屯地司令 押川1佐 着任

令和元年8月23日、第23代　第8高射特科群長兼ねて青野原駐屯地司令として、陸上総隊司令部から押川（おしかわ）　誠（まこと）　一等陸佐が着任した。

着任式において押川1佐は、統率方針を「任務の完遂」、要望事項を「なすべきことをなせ」として、「いつ如何なる時も、任務を完遂できる高射特科部隊を創造すべく、各人は何をすべきかをしっかり考え、各人の職責をしっかりと果たしてもらいたい。」と述べた。

着任式後、幹部挨拶・状況報告を受け、その後の初度巡視では、隊員に笑顔で声をかけられるなど、意欲的に部隊、駐屯地を掌握した。

青野原

【発　行】
防衛協会青野原
駐屯地連合会
青　桜　会

【印　刷】
（株）前田精版印刷

駐屯地司令要望事項
地域と共にある駐屯地

群長統率方針
任務の完遂

群長要望事項
なすべきことをなせ

プロフィール

押川　誠

防衛大学校（40期）
出身地：宮崎県
前職務：陸上総隊司令部 国際協力課長
趣　味：ゴルフ

▲着任式における巡閲

▲部隊長等による出迎え

▲初度巡視に対応する第308高射搬送通信中隊長

▲状況報告受け

▲司令室において幹部挨拶

第22代群長 小山1佐 陸上幕僚監部 防衛課長にご栄転

第22代群長　小山1佐は、8月23日付で陸上幕僚監部に異動となったため、異動前日となる8月22日、駐屯地において、離任式を挙行した。離任に際し、「この1年半、ここ青野原駐屯地で、みんなと一緒に勤務出来て、本当に良かった。ありがとう」と感謝の言葉を述べられ、駐屯地全隊員に見送られて青野原駐屯地を後にした。

▲見送り

▲離任式

新隊員後期教育修了

第8高射特科群は、9月21日、駐屯地において「令和元年度新隊員特技課程及び一般陸曹候補生課程後期修了式」を実施し、新隊員21名が、それぞれの中隊へ配置された。修了式には、加東市長代理　岩根正副市長をはじめ、駐屯地連合会長、各防衛協会会長、自衛隊家族会等、多数のご来賓を賜り、隊員家族等も見守る中、厳粛に行われた。押川1佐は式辞で「これから、本教育で培った知識・技能と同期の絆を基礎として、先輩の指導に従い、更なる技術の向上と体力・気力の充実に努め、中隊の一員として、なすべきことをなし活躍することを期待する」と述べ、新隊員を激励した。

修了式に引き続く祝賀会食は、来賓及びご家族と一緒にとり行なわれ、その後の訓練展示では、教育間、高射特科隊員及び通信科隊員としての基礎を徹底的に叩き込まれた新隊員達は、親元を離れて逞しく成長した姿を家族に披露した。

今回、第3班長として新隊員の指導を担任した渋谷3曹は、「当初、班長として不安もありましたが、新隊員の職種特技の練度が日々向上していくにつれて、自信とやりがいを感じていくことができ、いい経験をさせていただきました。班員には、中隊に配置されてもこれから立派な自衛官として前に進んでもらいたい。」と、教え子達の今後の活躍に期待を寄せた。

▲修了式

▲来賓の方々と記念撮影

▲家族へ教育成果を披露

隊内生活体験支援

308
高搬中

駐屯地は、8月5日から6日までの間、近隣大学及び高校（関西国際大学、西脇北高校、小野工業高校、社高校、吉川高校、播磨農業高校、三木北高校、神戸第一高校）18名の隊内生活体験（インターンシップ）を支援した。

参加者は、陸上自衛隊の概要等の説明を受けたのち、基本教練、救急法、コンパスの使用法、露営及び格闘（護身術）の訓練体験、営内における生活体験を通じ、規律を厳守する自衛隊生活の一端を体感した。

ある学生からは「何もかもが刺激の多い生活体験だった。特にこれからの人生において役に立つ救急法及び格闘（護身術）が体験出来た事が非常に大きかった」との感想も聞かれた。

▲格闘（護身術）の体験

▲心肺蘇生法の体験

多可町総合防災訓練

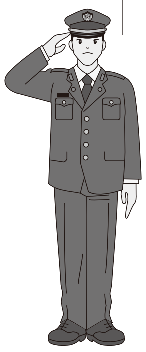
343
高中

第8高射特科群は、9月1日、多可町ベルディーホールにおいて実施された「令和元年度多可町総合防災訓練」に参加し、孤立集落からの救出及び炊き出しを実施した。

救出訓練では、会場から約4km離れた集落に取り残された16名の被災者を迅速に輸送し、炊き出し訓練では、約500食分の豚汁の炊き出しをして来場者に配食するなど、参加来場者に対し、自衛隊の存在感を示した。

▲救出訓練

▲多可町職員と炊き出しの準備



射撃競技会

302高直中

第302高射直接支援中隊は、8月28日、久代基本射場において、中部方面後方支援隊が実施する「令和元年度射撃競技会」に参加した。

競技については、11個部隊が参加する予選リーグ（基本射撃）と予選リーグ上位6個部隊が進出する決勝リーグ（至近距離射撃）となっており、当日は、日頃の練成成果を発揮して、激しい争いが繰り広げられた。

第302高射直接支援中隊は、12名が選手として参加し、予選リーグで見事4位に入り、決勝リーグに進出した。決勝リーグの結果、6位であったが、予選リーグを突破した成果を誇りに来年こそは「優勝」と心を新たにした。

▲予選（基本射撃）の様子

▲決勝（至近距離射撃）の様子

駐屯地盆踊り大会

駐屯地は、8月8日夕刻より、駐屯地を一般開放し、駐屯地盆踊り大会を開催した。

当日は、藤井比早之衆議院議員をはじめ、小野市長、加東市長など、多くの来賓の方々に参加頂くとともに、隊員家族や近隣住民など、約1，600名が来場し、会場は熱気に包まれた。

「清流太鼓」（小野市）による太鼓演奏と「竹峯流柳暁扇会（ちくほうりゅうりゅうぎょうせんかい）」（小野市）の方々のご協力により、「炭坑節」「河内音頭」など、お馴染みの曲に合わせて、踊りの輪が広がった。

今年も駐屯地連合会　小林顧問から提供を受けた餅を来賓及び各部隊長が櫓に上がり餅撒きを実施し、集まった来隊者は「こっち、こっち」と大声で叫びながら餅拾いの争奪戦となった。

最後に大会の締めとして毎年恒例である約100発の花火が打ち上げられると、来場者から歓声が上がり、一夜のひとときが終了した。

▲地域住民、隊員及び隊員家族で総踊り

▲大好評の餅撒き

小野まつり支援

302高直中

駐屯地は、8月18日、小野市うるおい交流館エクラにおいて、「第42回小野まつり」を支援した。

「地方車（じかたしゃ）」と呼ばれる姿に装飾した自衛隊の車両でおの恋おどりパレードの踊り子達を先導した。4コ車両ある先導車のうち、ひときわ大きい自衛隊車両は、踊り子達の気分を盛り上げた。

また、本支援に合わせて、兵庫地方協力本部と連携して設置した広報ブースでは、試着コーナーに人気が集まるとともに、来場者からは、「広報用のDVDがとてもおもしろかった。また来年も（ブースに）来たい。」と言う声があった。

▲大人気の試着コーナー

▲パレードを先導する装飾した自衛隊車両

駐屯地モニター部隊見学

駐屯地は、9月10日、今年度の駐屯地モニターに対して、駐屯地及び青野ヶ原演習場において、陸曹候補生術科試験に向けた練成訓練及び新隊員後期教育の総合訓練を公開した。

陸曹候補生術科試験に向けた練成訓練を見学したモニターの方は、「陸曹になりたいという意気込みを感じた。猛暑の中、一生懸命訓練している姿に自衛官の力強さを感じる」と、暑さに負けず訓練をしている姿に感嘆した様子だった。

また、総合訓練の見学では、「演習場で訓練を見たのは初めてで、見学できて良かった。新隊員ということで未熟さは感じますが、ひたむきに頑張っている姿をみると立派な自衛官に成れるのが分かります」と述べ、自衛官の育成の仕方について、理解が深まった様子だった。

▲術科試験練成訓練の見学

▲総合訓練の見学

災害派遣活動に従事

302高直中

第302高射直接支援中隊は、令和元年台風15号に伴う千葉県及び神奈川県の停電による災害派遣活動に従事するため、駐屯地を出発した。

9月16日、岸本2曹以下4名が、炊事支援を任務として活動拠点である千葉県館山市館山運動公園に向け出発し、17日には、浅野3曹以下4名が、入浴支援を任務として活動拠点である千葉県南房総市丸山地域センターに向け出発した。

また、藤原1曹以下4名が炊事支援を任務として、活動拠点である千葉県館山市館山運動公園に向け出発した。

災害派遣に従事する隊員は、物心両面の準備を万全にし、それぞれの活動拠点地へ向け駐屯地を後にした。

※災害派遣に関する内容は次号掲載します。

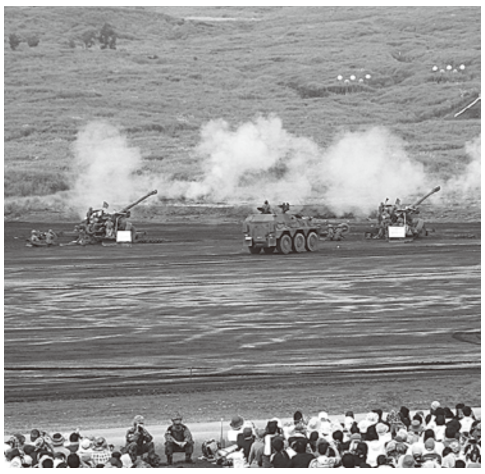
▲活動拠点に向け駐屯地を出発

富士総合火力演習研修

防衛協会青野原駐屯地連合会は、8月24日から25日の間、東富士演習場において、「令和元年度富士総合火力演習」を研修した。研修には、各市町防衛協会員が多数参加した。

当日は、天候にも恵まれ、国内最大規模を誇る実戦さながらの演習を目にした参加者らは、戦車砲及び火砲などの大きな発射音に耳をふさぎながらも、設置された目標に見事命中する度、大きな歓声を上げ、各装備品の能力とそれらを使いこなす隊員の技術と練度の高さに、驚いた様子であった。

参加者からは、「戦車砲は想像以上に音が大きく迫力があり、命中精度の高さにびっくりした」と感動した様子であった。



▲155㎜りゅう弾砲（FH70）の射撃

防衛協会定期総会

篠山市防衛協会は、8月7日、丹波篠山市民センターにおいて、「令和元年度篠山市防衛協会総会」を実施した。

総会では、平成30年度事業及び決算報告、令和元年度の事業等について審議され、いずれの議案も滞りなく承認された。

この祭、5月1日の丹波篠山市の市名変更に伴う「丹波篠山市防衛協会」への名称変更も承認された。

転出入

●**転出**

補給統制本部（十条）へ
第8高射特科群本部　1尉　曽根一幹

第1高射特科大隊（駒門）へ
第8高射特科群本部　1尉　伊藤賢一

自衛隊阪神病院（川西）へ
青野原駐屯地業務隊　1尉　藤原いずみ

関西補給処（桂）へ
第302高射直接支援中隊　曹長　濱本安弘

第2高射特科群（松戸）へ
本部管理中隊　1曹　植村宗詠

教育訓練研究本部（目黒）へ
第339高射中隊　2曹　清水真一

高射教導隊（下志津）へ
第340高射中隊　2曹　豊田祥嗣

北部方面後方支援隊（真駒内）へ
第302高射直接支援中隊　2曹　野田祐司

以上令和元年8月1日付

●**転入**

第2高射特科団（飯塚）から
本部管理中隊　1尉　政安真一

第8高射特科大隊（北熊本）から
第340高射中隊　1尉　藪内勇介

第2普通科連隊（高田）から
青野原駐屯地業務隊　曹長　柏原剛

中部方面後方支援隊（伊丹）から
第302高射直接支援中隊　曹長　森本健二

第12旅団付隊（相馬原）から
青野原駐屯地業務隊　1曹　山下佳翁

北部方面後方支援隊（真駒内）から
第302高射直接支援中隊　1曹　渡辺勇気

第15高射特科連隊（知念）から
第340高射中隊　2曹　山根太一

栃木地方協力本部から
本部管理中隊　3曹　田村由美

第3高射特科群（飯塚）から
第339高射中隊　3曹　石本章

以上令和元年8月1日付

賞詞受賞者

●**第5級賞詞（職務遂行）**

第338高射中隊　1曹　村上正俊
〃　3曹　久後智裕

以上令和元年8月8日付

●**第5級賞詞（車両無事故）**

第338高射中隊　3曹　久後智裕

以上令和元年8月8日付

課程教育等成績優秀者

●**第14期SAM電気機械整備課程**

金賞
第302高射直接支援中隊　3曹　楠田貴治

●**第14期SAM射統器材整備課程**

金賞
第302高射直接支援中隊　3曹　東侑希

部内外大会活躍

●**第29回中部地区自衛隊バスケットボール大会**

最優秀選手
第340高射中隊　士長　玉井篤

新隊員配置

本部管理中隊
2士　柳田夏輝
2士　田中雅規
2士　三木乃杏

第338高射中隊
2士　仲宗根優汰
2士　富浦卓
2士　小松香月
2士　長坂このみ

第339高射中隊
2士　寺西優磨
2士　曽谷彩野
2士　生駒賢志郎
2士　真島雄佑

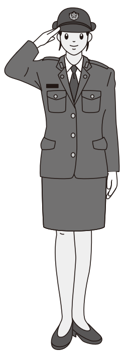
第340高射中隊
2士　河口友哉
2士　藤本泰一
2士　鈴木哲矢
2士　牧村菜々花

第343高射中隊
2士　太田将司
2士　竹内洸成
2士　今田士温
2士　佐藤しずか

第308高射搬送通信中隊
2士　福原未桜
2士　飯尾徳友輝
2士　田島佳奈

第302高射直接支援中隊
2士　塚原美香
2士　藤田夕海
2士　中井和馬
2士　久保勇人

広報陸曹の紹介



8月の定期異動で広報班へ配属されました田村3曹です。

出身は栃木県です。初めての関西勤務となりますが元気一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

退官者紹介

永年のご勤務お疲れ様でした

青野原駐屯地業務隊
3等陸尉
坂江　聡
令和元年9月20日付

青野原駐屯地業務隊
准陸尉
濵田　泰宏
令和元年9月16日付

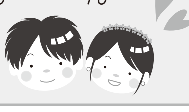
青野原駐屯地業務隊
3等陸尉
瀧田　正治
令和元年9月14日付

第8高射特科群
3等陸尉
宇都　忍
令和元年8月15日付

ご結婚おめでとうございます！末永くお幸せに

●8月11日
302高直中　2曹　中武瑛志
（杉田）鈴奈さん

●8月11日
302高直中　3曹　岡村拓海
（筑）美風さん



お誕生おめでとうございます！

●8月6日誕生
本管中
2曹
弘中喜明
（長男）康太くん

●8月8日誕生
302高直中
3曹
香川昇平
（長男）聖夏くん